

小口径ダクト用システム部材 φ50mm接続用給気グリル（吹出し方向選択形） 取扱説明書（据付説明書付）

この製品は三菱小口径ダクトシステムの給気口として、住宅居住室内の天井・壁に据付けて使用してください。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。
お客様ご自身では据付けしないでください。（安全や機能の確保ができません）

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.




形名	適用パイプ口径 (mm)
P-05GLD ₂ P-05GLD ₂ -BE	φ50

●適用パイプの種類

小口径ダクト φ50mm
(システム部材)
P-05D (断熱なし)
P-05DS (断熱あり)

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない (足元が不安定な状態での作業はけがの原因) 	
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ●据付けは確実に進行 (落下によるけがの原因) ●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する (着用しないとけがの原因) ●据付けやお手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う (運転状態での作業はけがの原因) 	

据付け前のお願い

- このグリルは、吹出し温度が周囲の空気の露点温度より3℃以上低い条件ではパイプジョイント、ジョイントダクトの表面に結露が発生します。結露が発生する条件で使用する場合は、パイプジョイントとジョイントダクト部を市販の断熱材で断熱ダクトと同等の断熱をしてください。
- ロスナイセントラル換気システムの室内側給気口として使用する場合
ロスナイ換気ユニットの温度交換効率から吹出し温度を算出し、【周囲露点温度-3℃】より高くなることを確認してください。
室内吹出し温度の求め方
 - 冬期（暖房時）
室内吹出し温度 = (室内温度(℃) - 外気温度(℃)) × 温度交換効率 + 外気温度
【例】室内温度20℃ 外気温度-10℃ 温度交換効率70%の場合
室内吹出し温度 = (20℃ - (-10℃)) × 0.70 + (-10℃) = 21 - 10 = 11℃
室内温度20℃、室内湿度60%RH(露点温度12℃)の場合、室内吹出し温度11℃は【露点温度-3℃=9℃】より高いため使用可能となります。
- 熱交換せずに直接外気を給気するグリルとして使用する場合
冬期に結露が発生するおそれがあります。パイプジョイントとジョイントダクト部を市販の断熱材で断熱ダクトと同等の断熱をしてください。給気温度が-5℃以下で、かつ室内温度20℃、室内湿度50%RH(露点温度9.3℃)の環境下ではグリルおよび遮へい板から結露水が滴下することがあり、使用できません。
- 据付金具（天井を挟み込む方法）で据付けをする場合、天井板の厚みは5～25mmとしてください。
- 高温(40℃以上)になる場所・浴室など湿度が高い場所では使用できません。
- 直接炎・油煙があたるおそれがある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。

据付け前のお願い つづき

- メンテナンスのできる場所に据付けてください。
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上はなれた場所に据付けてください。
- 外気(冷氣)侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 屋外(外気)の環境によっては、壁(天井)を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 据付けるダクトに変形(ツブレ等)がないことを確認して据付けてください。
- 据付面に反り・凹凸がないことを確認して据付けてください。

据付け前の準備

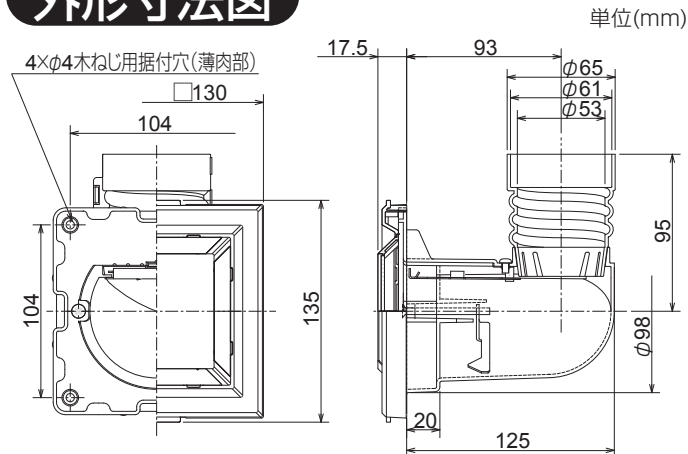
据付け前に下記のものをご用意ください。

- 市販のアルミテープ

〔石こうボードに木ねじ固定する場合〕

- 市販の木ねじ×4本(呼び径3.5、長さ30mm以上)
- 市販の石こうボード用アンカー×4本
(ご使用いただく木ねじに適合したもの)

外形寸法図



据付可能場所

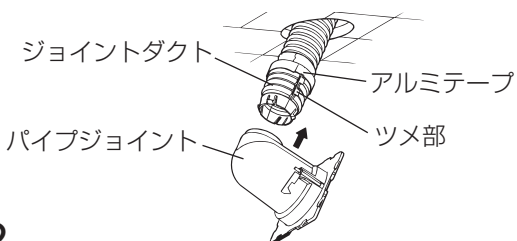
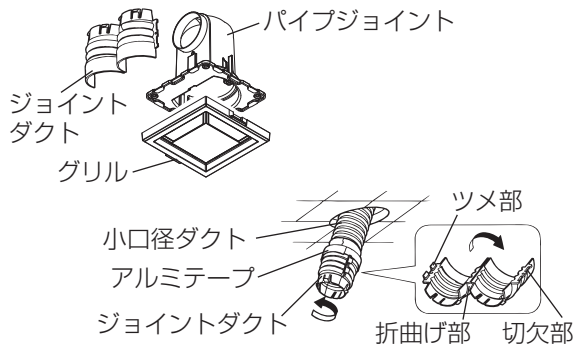
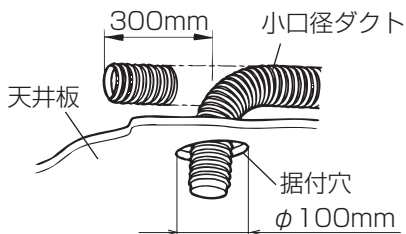
- 天井・壁

付属部品

- ジョイントダクト

据付方法

1. 据付け前の準備



小口径ダクトの配管

1. 小口径ダクトを据付位置まで配管し、据付位置より300mm程長くして切断する。
2. 天井板の給気グリル据付位置にφ100mmの穴を開け、小口径ダクトを引き出す。

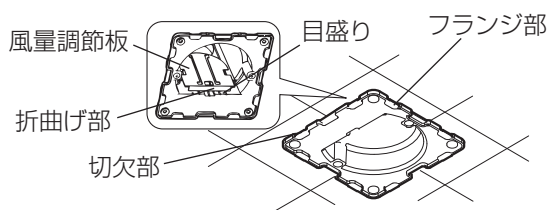
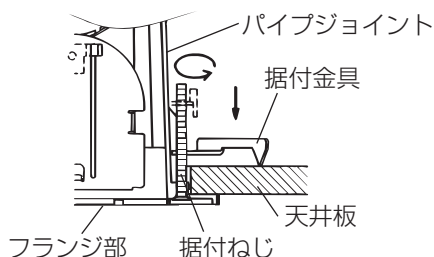
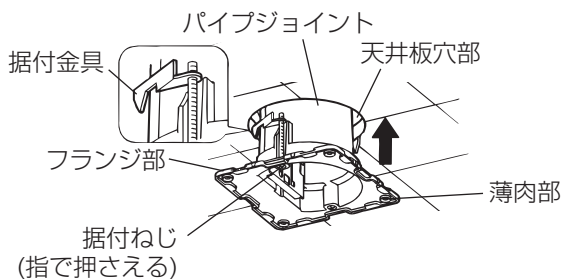
小口径ダクトの接続

1. ジョイントダクトの折曲げ部を折り曲げ、ツメ部を切欠部にはめ込む。
2. ジョイントダクトを小口径ダクトの先端にはめ込み、ジョイントダクトを図のように時計と反対方向に回して確実にねじ込む。
3. 小口径ダクトとジョイントダクトの接続部全周を市販のアルミテープで空気漏れのないように確実に巻き付ける。

ジョイントダクトとパイプジョイントの接続

図のようにジョイントダクトのツメ部をパイプジョイントに対して横向きになるようにしてパイプジョイントの接続口に差し込む。

2. 本体の据付け



据付金具による据付け

1. 据付金具を図の位置にしたままフランジ部の据付ねじを指で押さえながら、パイプジョイントを天井板穴部に差し込む。
● 据付ねじが下にさがるとう据付金具の位置がずれて天井板穴部に差し込めなくなります。必ず据付ねじを指で押さえてください。
2. フランジ部の据付ねじ(2本)を締め付ける。
● 図のように据付金具が下に移動し、パイプジョイントが天井板に固定されます。

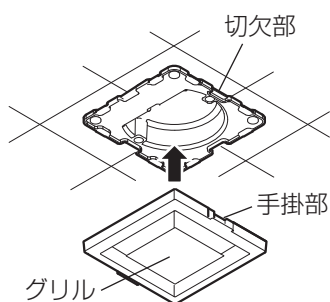
木ねじによる据付け

- フランジ部の薄肉部(4か所)を市販の木ねじ×4(呼び径3.5長さ30mm以上)にて締め付け固定する。
- 石こうボードに直接固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して取付けてください。
 - ねじ締め付け時は斜めにならないよう真っ直ぐに締め付けてください。
 - パイプジョイントが変形・破損に至ることがないように締め付けてください。

風量の調節

- 開梱時、風量調節板は全開の状態です。パイプジョイントの内側の目盛りを目安に、手またはラジオペンチ等で風量調節板を移動させて折曲げ部の位置で開口面積を決めます。

3. グリルの取付け



グリルの手掛け部とパイプジョイントの切欠部を合わせて取付ける。

- お好みの吹出し方向に合わせて取付けます。

お願い

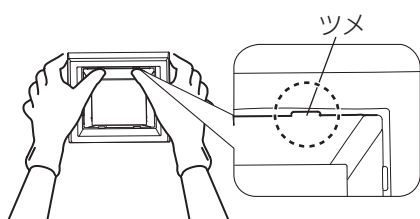
- グリルをパイプジョイントへ確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、グリルが落下するおそれがあります。

吹出し方向の選択

- グリルの取付方向を90° または180° とすることで吹出方向を選択することができます。
- グリルの遮へい板の取付方向を変えることで吹出し方向の選択ができます。
- 遮へい板により吹出し数や吹出し方向を選択できます。
※ 遮へい板の取扱いは下図によります。

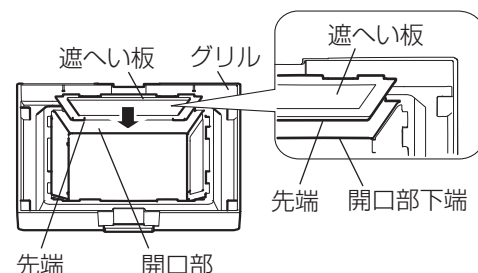
【遮へい板の取りはずしかた】

グリル表面からツメの近くを押す

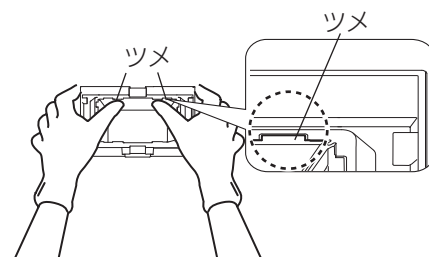


【遮へい板の取付けかた】

① グリル裏面から遮へい板の先端をグリルの開口部下端に合わせる



② ツメ部の近くを押して取付ける



据付け後の確認

据付け後、下記の確認をお願いします。

- ・ グリルが正しく取付けられているか？
- ・ 据付面と製品の間に着しいすき間がないか？
- ・ ねじにゆるみがないか？

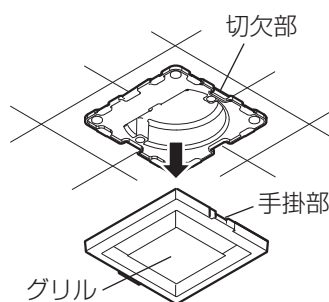
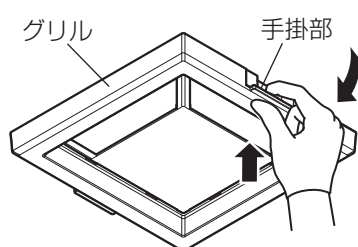
お手入れ

グリルにほこりなどが付着すると換気扇の風量低下や異常音発生の原因になります。

3か月に1度を目安として清掃してください。

⚠ 注意

- お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因）
- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）
- お手入れの際は、必ず接続されている換気扇の運転を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）



1. グリルをはずす。
 - 手掛部に指先をあて、グリルを下側に引っ張るとはずれます。
2. グリルを清掃する
 - めるま湯（40℃以下）に浸した布をかたくしぼってふく。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤に浸した布で汚れをふき取り洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
3. グリルの手掛部とパイプジョイントの切欠部を合わせて元通りにはめ込む。

お願い

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・酸性洗剤・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入りの洗剤・殺菌剤・消毒剤など（変質・変色する原因になります）

アフターサービス

当社は、この給気グリルの補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談はお買上げの販売店か下記窓口にご相談ください。

■ご相談窓口 平日 9:00~12:00 13:00~19:00（土・日・祝・弊社休日以外）

三菱電機 換気送風機技術相談センター 電話：0120-726-471（無料）

上記以外の時間帯

三菱電機 お客さま相談センター 電話：0120-139-365（無料）

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号